

珈琲コロノ⑩
中途退耕

海援団の新來移民が珈琲耕地コロノとして配耕に際しては、一農年間の就労契約を結び中途退耕の場合は違約金を支拂ふことになつてることは周知のことである。邦人コロノは昔から大體契約期間を満足に勤め上げるものと一般に印象付けられるものと全く例外と見、これによつて邦人コロノ全般の不評を招くことはなかつたが、この一兩年をり稀に夜逃げなどするものあるも全く例外と見、これによつて邦人コロノ間に日本人コロノは耕地労働者として不向であるとの言をなすものが現はれて来た模様である。

コロノとしての耕地労働が物質的に多く恵まれざる上に精神的・苦痛感からぬは事實で、如何にブライルに於ける獨立農への登龍門とはいへ一日も早くその束縛を脱し自由の身になりたることは人情の自然である、殊に純農の著しく減少し手より口の達者なものゝ多くなつた昨今の大移民においてその傾向顯著なものが、併しながらこれを耕主側から見れば、日本移民が一等國民であらうとなからうとそれは問題でなく、コロノとして傭入れたかぎり契約期間を満足に勤め耕地の成績を擧げるものを好むのであって、更に極端に云へば牛馬同様に使役した奴隸の代りと考へてゐるのかも知れない、たゞ人權問題の八ヶ岳は法の定むるところに従つたホンの形式に過ぎず、肚の底をましくなつた現代において奴隸の使役は許されないから契約書間に何の交換するとはいふものゝ、それは法の定むるところに従つたホンの形式に過ぎず、肚の底を割つて見ればコロノは尠くとも下等人種と心得てる耕主も絶対とは稱し難い、傳統的の思想は四圍の情勢がどう變らうとさう俄かに改善されるものないかとも外である、而して斯かる考への耕主からすればコロノの分際で契約期間の中途違約金を支拂ひ堂々と退耕するものなど以ての外で、往昔ならば到底タヽでは済まされぬ場面であるが現在は何とも手の下しようがないといふまでである、だが、斯ういふ場面が度重なれば直接退耕者

伯國のドライワード品輸入額はこの二年來急激に増加した、伯國の輸入額もこれと並んで増加するが、新來ヨリは伯國總輸入額の一割三分二厘と躍進、又他方伯國の對英對日輸出も著増し前者は九三四年上半期九分九厘より九三六年同期六年上半年期は一躍二割三分一厘と躍進、又他方伯國の輸入額は確とした發言である。

は一割二分九厘に、後者は同じく五厘より三分四厘となつてゐる。對獨貿易の躍進は明かに彼の獨伯通商協定によるもので、メリカ側の躍起となるは當然である。英日兩國の關係に至つては特に秘密協定存在せぬがアーリカの領域を侵してゐるのは事實でこれ亦氣を病むに十分の理由がある。

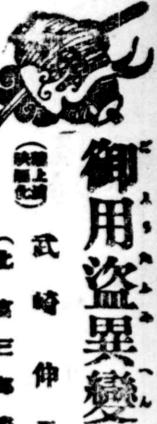
起りはらにふいにベ植に つかれ國ら、七に自領統するすも不三九面ニ= 事メは然アの みかん苗 新田果樹 ノロ線グワキサラ町入口郵便局
ガソ 構造十周 Coleman 燈 従來ル使 日伯社營業 リンゴナシキアス金鉢ノロエヌテ更線有田伊藤北アルチナアリアンサバストス移住地モヂアナ市郊田中古川金子安藤田中各出張員を出張致させます、諸賢の御配慮を願ひます。 Dr. M. Coreira de Fonseca 賣 土 地
當方獨逸人家庭、女中さ 求 女 中 療 眼科一般ト
至急求む 診療時間 午後二時より
Rua Paracatu, 54 (Terra que Imperial) S. Paulo
Sr. Eliso M. dos Santos Bandeirantes - S. P. B. R. L. Bedard 452
Papelaria D'oste 物品 印用用品其他
各學造花特價提供
M. no Pimentel Tel. 2903

 <p>L. W. MORGAN 伯國聖市代理人 Edificio Martinelli, 11° and sala 1129-C Caixa Postal 3431 São Paulo</p>	<p>火の王者</p> <p>のランプに比して改良の跡歴然、點火簡易、アルコールの必要無し、燈火鮮明にして百燭光電燈より明るく</p>	<p>木森精二郎 芳雄一郎 佳央一郎 國雄上ます</p>	<p>R.R. Laddar 6, 402 2º andar sala 45 S. Paulo</p>	<p>人一名 農作地 ト卸農作 P. Santos</p>	<p>木國三街道 Santos</p>	<p>ほねつぎ 柔道指南 整骨醫 尙武館 富川富興</p>	<p>子守日本人家庭 自道場 聖市セミナリオ街五一番 自宅 ピニエイロス・カリリス街九番 電話 一五〇番 郵函 四二八番</p>	<p>Dr. R. UCHIDA Pres. Prudente</p>
<p>の改善はガソリン消費僅少、効果大、尙現品は移民五年紀念博覽會場に陳列御訪問の上御覽あれ リン使用</p>	<p>未部</p>	<p>世の中</p>	<p>には非常に怒りっぽい人があるがこん</p>	<p>な人々は夜よく眠る事が出来ないか始</p>	<p>終煩悶して居る爲めか又常規の食事法</p>	<p>ドンペードロ・セグンド病院 外科・内科・産婦人科・光線ジアテルミア 聖市ルア・ダ・フィゲーラ八番 電三三一四一番 ドツトール 竹下貞</p>	<p>二十歳前後に於て健康なる 婦人を雇入たし 月給は部屋付の百五十ミル R. Maria Donatilla, 211 Bruz - S. Paulo</p>	<p>木國三街道 Santos</p>
<p>のランプに比して改良の跡歴然、點火簡易、アルコールの必要無し、燈火鮮明にして百燭光電燈より明るく</p>	<p>の必要無し、燈火鮮明にして百燭光電燈より明るく</p>	<p>木森精二郎 芳雄一郎 佳央一郎 國雄上ます</p>	<p>R.R. Laddar 6, 402 2º andar sala 45 S. Paulo</p>	<p>人一名 農作地 ト卸農作 P. Santos</p>	<p>木國三街道 Santos</p>	<p>ほねつぎ 柔道指南 整骨醫 尙武館 富川富興</p>	<p>子守日本人家庭 自道場 聖市セミナリオ街五一番 自宅 ピニエイロス・カリリス街九番 電話 一五〇番 郵函 四二八番</p>	<p>Dr. R. UCHIDA Pres. Prudente</p>
<p>のランプに比して改良の跡歴然、點火簡易、アルコールの必要無し、燈火鮮明にして百燭光電燈より明るく</p>	<p>の必要無し、燈火鮮明にして百燭光電燈より明るく</p>	<p>木森精二郎 芳雄一郎 佳央一郎 國雄上ます</p>	<p>R.R. Laddar 6, 402 2º andar sala 45 S. Paulo</p>	<p>人一名 農作地 ト卸農作 P. Santos</p>	<p>木國三街道 Santos</p>	<p>ほねつぎ 柔道指南 整骨醫 尙武館 富川富興</p>	<p>子守日本人家庭 自道場 聖市セミナリオ街五一番 自宅 ピニエイロス・カリリス街九番 電話 一五〇番 郵函 四二八番</p>	<p>Dr. R. UCHIDA Pres. Prudente</p>



時代は流れ(十七)

(七言三郎)



深川、伊勢木場の浪人長屋
今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營
養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。
好い思ひ付きたつた。
相變らず寒かつた。が、おつ
い立ち交り、餌を求めてやつて
来た。一面慈善事業となりメ
面すばらしい用心棒ともなる。

人間はこんなになつても、やは
り夢みる動物らしい。
「まあ、まあ、運は腰で待てと
いふからなあ……」
その隣の、これは、二人よ
り幾人間らしい、しなびた馬
の背中が、秋刀魚を干し

り金儲けだ！」
喧嘩を振りしぶつて、大
聲で怒鳴つた。
「なに仕事……金儲け……」
一人が叫んで起き上ると、皆
り仲間たちが起き上つて、その
光を大きく開いて、喜びに眼

を光らして
男の傍に集まつて來た。

「オドロキと、チト遠いです
よ」とA氏、酌をし乍ら氣をひ
けば、「イヤ、オドロキですよ、島田
老人や齋藤さん式の人間が、今
のブラジルにゐない事は、大き
なオドロキですよ、W氏が一寸

やりましたがね……」とチト醉
くので、「オドロキと、チト遠いです
よ」とA氏、酌をし乍ら氣をひ
けば、「お役人やオエラ方にグツと睨
まる位の人間がほしいですね」

片目をつぶつて鼻の下をなでて
ゐます。

「お役人やオエラ方にグツと睨
まる位の人間がほしいですね」
ELEKEIROZ S.A.

聖市デレインダ番三階三号室
宣誓公證翻譯人
杉山英雄
Caxia Postal, 2975
電話一四

聖市耕農園
R. Pedroso de Moraes, 171
Pinheiros Caixa, 3952
S. Paulo

薄荷苗優良
日本種
リーン市
小今野田誠求
本苗のんかみ々種

アビム口コ社伯日

翻譯と法律事務
辯護士カルロス・ナ・モラエス
宣誓公證翻譯人
杉山英雄
聖市デレインダ番三階三号室
Caxia Postal, 2975
電話一四

第二回賣出し
農家の副業として最
も有利なる薄荷苗を
分譲す、苗木に制限
あり至急申込ありた
し

本苗のんかみ々種
三〇二函郵便又は又
函郵便ラサイワグ

Arrancador de Raízes
“SANJI”
Patente N. 21986
現在農家にて使用中 50,000丁

棉完全な拔根、能率の大、安價
各地に特約店あり、御注文は下記宛
ニセ物ありサンチ式に御注意

棉
サンチ式拔根器
簡単な構造、使用の輕便、堅牢

Fabricantes
Sanji & Cia. Ltda.
Caixa, 38 AVARÉ E.F.S.

アビム口コ社伯日

アビム口コ社伯日

縫めにかけてある刀の、どれを
見ても、中身は?と、期待の出
来る様なものはなかつた——ま
まいけれども。
五十疊敷位の廣さの、縄の巻
みたいに、細長いところへ、彼
方に一かたまり、此方に一かた
まりしてゐて、めい／＼が、恭
だの將棋大の狂笑ひ繪だの
收な手口で、押しの一點張りの
商法を續けてゐた。從つて、商
仇はうるさい程あつた。頭の好
い彼は、浪人長屋を建設した。

「なにか、ぼろいことはあるま
で、いつものさげられて

「さうなあ、ボカツと千両程
で毎日五人分だけ食事を提供した
で。ルンバーン侍達は、入り交
り立ち交り、餌を求めてやつて
來た。一面慈善事業となりメ
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。刀架けに、一
四五人の浪人が、秋刀魚を干し

つけ春が來るだらうといふ時節
であつた。南の窓から、短い冬
の陽足が射してゐる窓際に、十
面すばらしい用心棒ともなる。

今日も四五十人の失業武士達
がゴロゴロと寝そべつてゐた。
これを見ても、活氣のない營

養不良の、ウソ寒うな面つき
である。続ひと、飲呑ひと、破
れ目のない衣類を着けた男は一
人もゐなかつた。

基督教の理想境は「人もしも受けるための喧嘩ではなく、そのうちは仕掛ける喧嘩は罪穢である。このうちで仕掛けた喧嘩には必ず神の罰が来る」といふことを教える。また米国のスタンリーホールといふ心理学者によると、心の仕事には、男らしい道徳が發達しない、さういふことは、神の仕事にも非常に必要な報償の念がある。

研究會を開くについて
聖市佐藤初江

近々卒業生の方々がお集ひに成る一般的研究會をお開きに成る。この研究と云ふ言葉が相應しい此の研究と云ふ言葉が相應しい。大切である、有名な教育者が大切である、この理想境へ行くことは出来ぬ悪い者は突つかる、弱いものは助ける。基督教の理想境は「人もしも受けるための喧嘩ではなく、そのうちは仕掛けた喧嘩は罪穢である。このうちで仕掛けた喧嘩には必ず神の罰が来る」といふことを教える。また米国のスタンリーホールといふ心理学者によると、心の仕事には、男らしい道徳が發達しない、さういふことは、神の仕事にも非常に必要な報償の念がある。

大體このどもの喧嘩には二つの種類がある、一つはいはゆる喧嘩好きといふ方でこれは弱いものをいちぢり廻して楽しむといふ本能から出てゐるものであり、も

から出發したから出發した。つまり仕掛けた喧嘩をしてつら自にあります。また喧嘩をしてつら自にあります。つまり打ちためたり叩いたりすます。だからして來るものは社会的に洗練されて來るものです。喧嘩を仕掛けたままの生存を侵害されても何も出来ないやうな弱いどもはいくじなかれ。身

體が弱いか、その他の人に陥落のあることも多い、かういふ喧嘩は社会的経験に乏しい、年齢からいふと尋常四年が

のものとめなければならぬが、そのものは人間生存上必要なもので、これを無暗にとめたのである。さういふ意味からいふと何時も事なれば主張されますが、こどもではとても要である、さういふ時は正直に打返すことは正直に立派な道徳を發達させることになるわけです。基督教の理想境は「人もしも受けるための喧嘩ではなく、そのうちは仕掛けた喧嘩は罪穢である。このうちで仕掛けた喧嘩には必ず神の罰が来る」といふことを教える。また米国のスタンリーホールといふ心理学者によると、心の仕事には、男らしい道徳が發達しない、さういふことは、神の仕事にも非常に必要な報償の念がある。

喧嘩の供子

無暗に止めるな

賣られたら男らしく戰へ!

正義感と道徳心を養ふ



喧嘩は大人にも多いが子どもの間にものだらうか、これは大變面白い問題です……

必ず儒になるといつてゐる。また喧嘩をしてつら自にあります。つまり打ちためたり叩いたりすます。だからして來るものは社会的に洗練されて來るものです。喧嘩を仕掛けたままの生存を侵害されても何も出来ないやうな弱いどもはいくじなかれ。身

體が弱いか、その他の人に陥落のあることも多い、かういふ喧嘩は社会的経験に乏しい、年齢からいふと尋常四年が

のものとめなければならぬが、そのものは人間生存上必要なもので、これを無暗にとめたのである。さういふ意味からいふと何時も事なれば主張されますが、こどもではとても要である、さういふ時は正直に打返すことは正直に立派な道徳を發達させることになるわけです。基督教の理想境は「人もしも受けるための喧嘩ではなく、そのうちは仕掛けた喧嘩は罪穢である。このうちで仕掛けた喧嘩には必ず神の罰が来る」といふことを教える。また米国のスタンリーホールといふ心理学者によると、心の仕事には、男らしい道徳が發達しない、さういふことは、神の仕事にも非常に必要な報償の念がある。

〔答〕理智的に見せたい時に白粉は不調和ですが、と云ふ

〔問〕理智的な黄色の勝つた化粧法がよいですか? (一讀者)

ハードルの分解



今年の活躍を期さうとしてる新しいフオードルを連續寫眞で分解したものであるが、在伯邦人ハードル選手のために参考にならうと思ふ、兩手を強く前に突き出し上體からハードルを越えて行かうといふ氣持を現はしたところに新工夫が示されてゐる

族の發揮せんと大進軍を起しつ
養育發揮せんと大進軍を起しつ
を捕へ中央に堅陣を營み我が民

あり

理論の餘地ありとも「中央集

権」は文明社會の一課程として

社會人の等しく認める處で又大

事業を決行する上には「中央に

集注」さるゝは甚だ自然な勢と

言ふべきであらう

かく有る大行事が中央に集注

されつゝある時獨り第二世の最

大の精神道場たるべき少年野球

とされる「日伯新聞」のこの壯

舉に對し我々の感激や測り難く

慶起し總ゆる努力と犠牲を振ひ

全能力を總動員して攝影期にあ

る斯界の爲多大の寄與貢献せん

とされたる「日伯新聞」のこの壯

舉に對し我々の感激や測り難く

慶起し總ゆる努力と犠牲を振ひ

全能力を總動員して攝影期にあ

る斯界の爲多大の寄與貢献せん

とされる「日伯新聞」のこの壯

舉に對し我々の感激や測り難く

**たし越を峠
線戦花棉**

恨めしい雨の祟り

不作の上に品質不良

十年振りといふ年
調子の天候は本年度の
「不作」棉作へ「不作」といふらめ
しい極印を捺してしまつた
即ち海外輸出
向の大半を占
め四級品以上について見ると
昨年五割以上であったものが本
年は雨に祟られて一般に悪く全
部の約一割五分といふ減り方、
で雨の心配をして居る

棉屋さん早くも仕事整理へ

**市毛さん
の銀幕外交**

日本大使館一行
他高官招待し訪日使節團一行
の漁業「日本の唄」も上映する

シネオデオンに高官招待
訪日使節團ファイルム上映

**産聲あげた
俳誌、南十字星、
産みの親曉雪宗匠**

在伯邦人社會の俳句選、十句以内
に數名の當選者を送るよう

なつたが、今度市毛曉雪、中野
陽水氏等が發起人となつて俳句
雑誌「南十字星」を發刊するこ
ととなつた、選者は木村圭吉、
佐藤金腹兩氏で創刊號發行は八
月一日であるから振付て投稿し
て貰ひ度いと同好の志に呼びか
けてゐる

一、南十字星集—圭石選、當季

書店宛の事(Revista Sonthie
rn Cross) Livraria Oriental

Caxia Postal, 3138 S. Paulo

但し念願選詠に限りアリア
ンサ念願死のこと

六、會費は一ヶ月廿四ミル、一
部購讀料一ミル五百レース也

モンセニヨール・
クロロ街四七二

バウル

田

外
交
員
募
急
募

二、三名

バツサードール

カーザ入院させた
頭結核でカンボジヨルド

ンの高原療養に向かねから
り同會の方ではお世話出来な
いたと總領事館の方へ廻して來
たそこで領事館では更にこれを聖
市日會へ引渡したので、同會社
カーザ入院させた

二十歳前後の青年を求む

モツターラ・ソニン・ビイレス・ダ
チニツラリヤ 竹 田

モニターラ・ソニン・ビイレス・ダ
チニツラリヤ 竹 田

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII

S. Paulo - 3.a-feira 22 de Junho de 1937

Num. 1.160

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR Masaaki Uchihara GERENTE Alfredo Takeuchi
Redacção - Administração e Oficinas
RUA Maestro Cardim, 169
Telephones 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegráfico: "Nippak"
SUCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 164
Telephone 2-3926
SÃO PAULO - Brazil
Assinaturas PARA O BRASIL
Por anno 80000
Por semestre 160000
Número avulso 6500
PARA O EXTERIOR 60000
Annúncios Temos à disposição dos interessados uma lista completa de preços para anúncios nesta folha

Vedado o levantamento de empréstimos de capitais adiáveis

Instruções ao Banco de Fomento Industrial

Tokio, Abril — Em recentes instruções baixadas pelo titular da pasta das Finanças, foi ordenado que os pedidos de empréstimos de capitais para as indústrias adiáveis não sejam atendidos, como até aqui vinha sendo, prevalecendo sempre como prioridade a inadimplibilidade dos capitais solicitados. Com a medida ora tomada, entende o ministro das Finanças que poderá reduzir, ainda que em parte, a marcha triunfal para a situação inflacionária, reinante nestes últimos tempos, cujo estado de coisas está ameaçando a vida das classes menos providas.

Sensível baixa na cotação das consolidadas

Tokio, Abril — Com a aproximação do período de sorteios, é costume bolsista elevar sempre as cotações das consolidadas, como acontece também em todos os mercados mundiais. Um facto quasi phenomenal vem de marcar novo record nos anuários das bolsas de valores, com a baixa geral na cotação das consolidadas premiáveis. Assim é que as da série 11 sofreram uma baixa de 55 sens, chegando a ser cotadas a 12,10 yens. As da série 10 sofreram também uma baixa de 45 sens, ou sejam 12,90 yens que é a média cotada nestes últimos dias. Com relação à nova série, a baixa se verificou com maior intensidade, pois, chegaram a 11,90 yens, com uma diferença para menos de 65 sens, facto nunca visto nestes últimos tempos.

Tokio, Maio — «Ryorya» é a denominação sumaria dessas casas onde a gente bebe, em companhia de amigos, ao lado de «gueishas». Creio que a sua existência é «sui generis», através de todos os continentes, pois, o termo «gueisha» não admite, em rigor, tradução em língua estrangeira. Assim é que «Ryorya» e «gueisha» coexistem sempre, em quaisquer momentos, desde os meses desocupados até estação cerejeira, que é a mais encantadora de todas as estações do ano. A estação que está terminando creou entre os jovens e velhos do Sol Nascente, o hábito de beber, cantar e dansar, ao som das musicas arrancadas aos tres fios do «Shamisen» — o instrumento nipônico que as «gueishas» aprendem a tocar desde o inicio da sua interessante carreira artística. As flores das cerejeiras, que beiram, em regra, rios, lagos, outros aquários, incitam o povo nipônico a proclamar nas suas rainhas, que ordenam o desfile em torno dos seus pés, bebendo, cantando, dançando... Ministros de Estado, altos funcionários públicos, presidentes e outros diretores das sumidades industriais e financeiras, até os ope-

A dissolução parlamentar trouxe, de facto, sérios transtornos aos

negócios dos «ryoryas» e à economia doméstica das «gueishas». Sabem porque? A resposta é fácil. Segundo a lei eleitoral em vigor, constitui crime o suborno. Pelo suborno se entende, não sómente o recebimento indevido de dinheiro ou mercadorias, mas também não é permitido oferecer, comidas, bebidas ou festas. Ora, qualquer um, principalmente os candidatos parlamentares e os cabos eleitores, costuma aproveitar a estação cerejeira que acaba de passar. Quem não gosta de convidar amigos íntimos para uma «farragosta»? Mas, este ano, as circunstâncias foi desfavorável para a repetição das habitual festividades. O facto de serem candidatos a deputados ou cabos eleitores não permitiu que os mesmos gosassem como melhor lhes parecesse. Não fossem as eleições parlamentares marcadas hontem, 30 de abril, e elles não veriam cerrada a porta do paraíso primaveril, cuja kilometragem para seu término vai encerrando de anno para anno. O candidato fulano bebeu junto com um eleitor, processo crime. O cabo fulano foi encontrado comendo junto com um eleitor, processo crime. E assim por diante.

A inversão d'Após tempos

temade vem a bonança, ahí

esta à espera dos trans-

gressores do código eleitoral do

Imperial Beber ou comer juntos

no «ryorya», com o fito de subor-

no ou sem elle, vai encontrar a

porta da cadeia aberta.

Realiza-se nos próximos dias 24, 25, 26 e 27, sob o patrocínio desta folha, o primeiro Campeonato de Base-Ball das Escolas Japonezas do Brasil, no campo gentilmente cedido pela Sociedade Hippica Paulista.

Tomarão parte neste interessante certame os «teams» das seguintes escolas Primarias Japonezas:

リオ・デ・ジャネiro丸遭難者慰靈祭左記の通り執行可仕此
段謹告候也

左

記

一、場所 於サンタス港リオ・デ・ジャネiro丸甲板上
二、日時 六月二十七日午前中同船着港直後
上ぐ可く候
昭和十二年六月二十二日

大阪商船株式會社
海外興業拓植組合

1.a Escola Primaria de Bastos,
Escola Primaria «Saude»,
de Bastos. Escola «Soyei juku»
de Marilia, e Escola Primaria
«Taisho», desta capital.

Todos os «teams», que são compostos exclusivamente de alunos das respectivas escolas, deverão estar na capital até a véspera do inicio do campeonato.

Cada «team» será conduzido pelo respectivo «manager».

E' grande a expectativa pelo sucesso do interessante campeonato, talvez o primeiro no genero, aqui no Brasil. Os escolares estão animados de excellente entusiasmo, fazendo prever o inteiro éxito da competição basebolista patrocinada por esta folha.

Novo record na arrecadação de imposto

O exercício findo a 31 de Março será encerrado com a arrecadação superior a 1.100.000.000 de yens

Tokio, Abril — Superando toda a expectativa, manifestada por meio do orçamento do exercício findo a 31 de Março ultima, a renda proveniente da arrecadação de impostos nesse periodo fiscal será de 1.145.000.000 yens..... (5.725.000 contos de reis), quando a leiloeiraria consignava apenas 1.045.000.000 yens, ou seja, menos 100.000.000 yens do que a arrecadação efectiva.

ESPORTES

Primeiro Campeonato de Base-Ball das Escolas Japonezas do Brasil

Realiza-se nos próximos dias 24, 25, 26 e 27, sob o patrocínio desta folha, o primeiro Campeonato de Base-Ball das Escolas Japonezas do Brasil, no campo gentilmente cedido pela Sociedade Hippica Paulista.

Tomarão parte neste interessante certame os «teams» das seguintes escolas Primarias Japonezas:

Livros e Autores

Esta secção divulgará, em curtas notas, o nome de livros que lhe forem enviados. Os livros devem ser endereçados à secção de «Livros e Autores», do «Nippak Shimbun».

G. de Rezende Martins:

“CANANÉA”

Cidade Nobre do Brasil

“Cananéa, cidade nobre do Brasil”, que o autor, sr. Geraldo de Rezende Martins teve a gentileza de nos enviar, deveria ser mais amplamente divulgado, pois é um livro escrito com profundo conhecimento de causa e com um nobre escopo patriótico. O autor faz um estudo geral daquela cidade sulina do Estado, traçando, de maneira clara, o esboço histórico, apreciando os aspectos físicos e económicos da região e focalizando os problemas da extração de riquezas minerais de que é fertil aquelle município, das vias de comunicações, do porto e da imigração.

Ao escrever sobre o ultimo assunto, o sr. Rezende Martins, refere-se com absoluta imparcialidade e espírito de justiça à imigração nipônica, reconhecendo a sua necessidade no cultivo de terras ainda incultas daquella região.

農家諸賢 アルセニアツト・デ・シユンボ

(砒酸鉛)は
世界に誇る日本農薬會社の
謹啓各位益々御清適の段大慶至極に存じ
ます
陳者昨年取次開始以來絶大なる御好評を
賜り御使用者各位より適確なる實効を奏
する砒酸鉛は弊社取次の
社取次品のみは
一、品質の一定なる事
二、全砒素含有三三%以上
一、労力節約上最初より大量の水を加へて簡単な攪拌で容易に分散、而も容易に沈降せぬ事
一、植物に最も恐るべき亞砒酸を絶対に含有せぬ事
等他品の絶対及ばぬ特徴を誇るものであります
但し本社責任取次の最良品をお撰びになることです
思案より先づ使へ
是買方一つで重大な結果を招來します、
先は右御案内迄
御注文は五十キロ以上
本社直接又は出張員へ
早速次作への御用意を
アルセニアツト・デ・シユンボ

世界に誇る日本農薬會社の
謹啓各位益々御清適の段大慶至極に存じ
ます
陈者昨年取次開始以來絶大なる御好評を
賜り御使用者各位より適確なる實効を奏
する砒酸鉛は弊社取次の
社取次品のみは
一、品質の一定なる事
二、全砒素含有三三%以上
一、労力節約上最初より大量の水を加へて簡単な攪拌で容易に分散、而も容易に沈降せぬ事
一、植物に最も恐るべき亞砒酸を絶対に含有せぬ事
等他品の絶対及ばぬ特徴を誇るものであります
但し本社責任取次の最良品をお撰びになることです
思案より先づ使へ
是買方一つで重大な結果を招來します、
先は右御案内迄
御注文は五十キロ以上
本社直接又は出張員へ
早速次作への御用意を
アルセニアツト・デ・シユンボ